

# 簡易懸濁法の手順

1. 懸濁ボトルに薬剤を入れます。



2. ポットのお湯と水道水を2：1で混ぜると約55℃の温湯になります。

この温湯を20～60mLとり、薬剤を入れた懸濁ボトルに入れます。

水では崩壊しないことがあるため必ず約55℃の温湯で行います。(※1)



3. ボトルにふたをして、軽く振り混ぜ10分間以上放置します。(※2)

カプセルなどが懸濁していない場合はよく振り混ぜます。

4. 栄養チューブから投与してください。



5. 投与後、栄養チューブに水またはぬるま湯を注入し、洗浄します。

※1 約55℃の温湯をシリンジに入れて自然放冷すると、10分後には37℃付近になります。そのため簡易懸濁法で使用する温湯の温度は55℃前後を目安としています。

※2 放置時間が短すぎると湯温が体温近くまで下がりきっていない可能性がありますので注意してください。